

もりや仙一郎便り

県政報告 Vol.12



予算委員会

農林水産業復興に一役

創意工夫プロジェクトで活性化



▲予算委員会で県政一般について答弁 (予算委員会室)

予算特別委員会が開かれた3月11日、質問の機会を頂き、県政一般について質問をしました。内容は、知事の政治姿勢やトップセールスに対する基本的な考え方、農林水産業産出額増についての県の考え方、子育て支援についてなど多岐にわたる内容です。なかでも、農林水産業の産出額の増大は、食料供給県、山形を誇るために今後ますます力を入れていかなければならない分野です。山形において、一番の産出額である「さくらんぼ」が3年連続不作と低迷する現状にあり、さらなる生産力の向上を図る取り組みを関連団体と、協議している最中です。さらには、他の農産物の産出額向上を目指し、農林水産業全体の底上げをしていかなければなりません。今予算委員会の答弁で、知事は「県の農林水産業を起点とする産出額目標3,000億円を今後も目指し、各種事業に取り組み」と誓う姿を見せられました。県全体の活力を上げる良い目標設定だと感じております。農林水産業の底上げには、やはり良い環境整備や支援策の充実が必要です。今後、もそれら実現のため、農家の皆様の「生の声」を

取り組みを関連団体と、協議している最中です。さらには、他の農産物の産出額向上を目指し、農林水産業全体の底上げをしていかなければなりません。今予算委員会の答弁で、知事は「県の農林水産業を起点とする産出額目標3,000億円を今後も目指し、各種事業に取り組み」と誓う姿を見せられました。県全体の活力を上げる良い目標設定だと感じております。農林水産業の底上げには、やはり良い環境整備や支援策の充実が必要です。今後、もそれら実現のため、農家の皆様の「生の声」を

家の皆様に参加してもらえよう配慮した形です。さて、県では3月18日から4月8日までの期間で農林水産業創意工夫プロジェクト支援事業「現場の創意工夫プロジェクト」の募集をしています。これは農林水産業の活性化と、産出額増大を図るべく、昨年から実施されているもので、生産農家や企業の創意工夫に富んだプロジェクトの計画実現に向けて、県が支援を行なうものです。農産物のブランド化や、加工しての販売、収量の増大を図るための栽培プロジェクトなどに助成金が交付されることになりま

「現場の創意工夫プロジェクト」

●平成21年度の採択例

- 規格外の農産物を利用したご当地スイーツの開発 (加工施設改築、加工調理器具等)
- 海水冷却装置導入によるズワイガニ活魚の出荷 (底引き網漁船への海水冷却装置)
- 耕作放棄地を活用したコケの栽培による屋上緑化 (コケ栽培)
- 転作田を活用した枝豆の長期出荷体制の確立 (収穫機、自動脱穀機、低温貯蔵機)

お問い合わせは、お近くの山形総合支庁農作業振興課まで
山形県村総合支庁 023-621-8141
(農業振興課 地域農政担当)

側溝の凸凹・電柱を撤去
旧13号線道路整備一部が完了
 地域の皆様よりご要望を多数頂いております。主要地方道・山形-天童線の整備第一区間(約2.50km)がこのほど終了しました。これは、側溝の凸凹と、道路にはみ出した電柱が、通行する歩行者や自転車の妨げになっていたことから地元の皆様より整備要望を頂戴した経緯があります。県と連携し現場を調査したところ、側溝を塞ぐコンク



リートはポロポロで危険な状態にあり、早急な整備に踏み切った次第です。電柱に関しては、隣接者様の協力を得て、民地に移動させて頂きました。感謝申し上げます。同整備は今後も継続し、皆様のご要望に応えられますよう活動を展開してまいります。

高齢農業者に支援を



農作業の高齢化に伴い、痛ましい事故が毎年発生しております。なかでも、65歳以上の方の事故が全体の約半分を占めており、トラクター横転や、草刈機での事故など多発しています。その

発生の防止・抑止には、農作業の安全確保が重要です。農作業の安全確保には、農作業の安全確保が重要です。農作業の安全確保には、農作業の安全確保が重要です。

事故防止・抑止には、農作業の安全確保が重要です。農作業の安全確保には、農作業の安全確保が重要です。農作業の安全確保には、農作業の安全確保が重要です。

もりや仙一郎事務所

ご意見を募集しております。FAX・メール・ブログで頂けると幸いです。

023-658-2355 FAX023-658-2356

〒994-0103 天童市大字川原子 1640

もりや仙一郎

<http://blog.goo.ne.jp/furusato-08>

ブログにて、日頃の活動の報告を公開しております。



QRコードでアクセス

